

栃木県立宇都宮南高等学校 クリエイティブアート部の活動方針及び年間活動計画等（※部顧問作成）		
顧問名	岡本 紫津香、山岸 光子	
目標	- 生徒の自主性を育む。 - 自他を尊重する姿勢、自己肯定感を養う。	
活動方針	- 生徒の自主的な創作活動を促す。 - 昨年度より掲示発表をする機会を増やし、生徒の活動が活発になるように促す。	
休養日	土日祝日	
活動時間	臨時	
月	参加予定大会等	その他
4月	春休み作品廊下掲示	
5月		
6月	夏休み前作品廊下掲示	
7月		
8月		
9月	文化祭 ・カレンダー制作 ・部誌作成 ・しおり作成	
10月		
11月	冬休み前廊下掲示	
12月		
1月	冬休み作品廊下掲示	
2月		
3月	春休み前作品廊下掲示	

<記入例>

栃木県立〇〇高等学校△△△部の活動方針及び年間活動計画等		
顧問名	◎栃木健太、宇都宮花子、足利次郎	
目標	○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施する。怪我等の防止に努め、生徒間の話し合いを重視する。 ○高校総体栃木県予選での上位入賞、さらには関東大会への出場を目指す。 ○活動をととして、生徒が心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	○生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○生徒の技術・競技力の向上と生徒間の生徒同士や生徒と教師等の望ましい人間関係の構築を目的として、夏季休業中に2泊3日の校内合宿を行う。 ○熱中症予防対策として、熱中症計を活用した活動のリスクマネジメントを構築する。	
休養日	○原則として、毎週日曜日を休養日とする。 ○大会参加等で日曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌月曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○8/11～8/18、12/29～1/3、3/29～4/3は、オフシーズンとする。	
活動時間	○一日の活動時間は、平日は2時間程度として19時には完全下校とし、休業日は4時間程度とする。 ○定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4月		○20(土)、27(土) 練習試合
5月	○10(金)～11(土) 高校総体兼関東大会栃木県予選 ○31(金) 関東大会	○3(金)、4(土)、25(土) 練習試合
6月	○1(土)～2(日) 関東大会 ○15(土)～16(日) インターハイ栃木県予選	○8(土) 練習試合 ○22(土) 練習試合
7月	○13(土)～14(日) 国体予選	○6(土)、20(土) 練習試合 ○24(水)～27(土) 県外遠征(泊)
8月	○8(木)～10(土) インターハイ	○3(土) 練習試合
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

栃木県立宇都宮南高等学校		部の活動報告 (※部顧問作成)		
月	報告欄	休養日	チェック欄	
			教頭	校長
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
年間を通した反省				

<記入例>

栃木県立〇〇高等学校△△△部の活動報告				
月	報告欄		チェック欄	
4月	〇予定どおり20(土)、27(土)に練習試合を実施。20は〇〇高に4－2で勝、27は××高に2－3で負。 〇1年生の入部者に例年になく中学校の経験者が多く、今後が楽しみ。 〇2年生の△△が、27の練習試合で右足小指を骨折。怪我防止に関して、ミーティングを実施。 〇生徒に疲れが見えたため、29(月)も休養日とし、28(日)と合わせて2日連続の休養日とした。	休養日	教頭	校長
		7(日)・14(日)・ 21(日)・ 28(日)・29(日)	✓	✓
5月	〇3(金)の練習試合は、〇〇高に2－1で勝、△△高には0－1で負。 〇4(土)の練習試合は、〇△高に3－2で勝。関東予選前に順調に仕上がっている。少人数の3年生を、2年がよくカバーしている。 〇10(金)～11(土)の関東大会予選結果は次のとおり。10の1回戦は〇△高に1－0で勝。2回戦は×〇高に5－3で勝。11の3回戦は2－3で×△高に逆転負。ベスト8となり、関東出場はならなかった。 〇中間テスト前なので、18(土)、19(日)と休みにした。 〇25(土)の練習試合は〇×高に4－0で勝。1年生の口口を途中から使ったが、よく頑張れた。	休養日	教頭	校長
		5(日)・12(日)・ 18(土)・1 9(日)・26(日)	✓	✓
6月	〇関東大会ならず、1(土)に練習試合を入れた。×〇高に1－1で引き分け。〇◇高には1－0で勝利。少し集中力欠如の印象あり、試合後、十分に話し合いをさせた。 〇8(土)の練習試合は、2試合行い、〇△高に2－0で、×〇高にも3－1で勝。インターハイ予選に向け、手応えを感じた試合となった。 〇16(日)はインターハイ予選のため、休養日を17(月)に振り替えた。 〇15(土)、16(日)のインターハイ予選は、団体1回戦〇〇高に2－1、2回戦〇×高に1－0、3回戦で〇◇高に1－0で勝つが、準々決勝で■■高に0－1で惜敗。ベスト4に届かなかった。 〇1年生の口口、2年生の×口、△〇、3年生の◇◇、〇◇の活躍が目立った。3年生はこの試合で引退となる。3年間苦労様であった。 〇22(土)の練習試合は、新チームデビュー戦となった、◇◇高に1－4で敗れた。	休養日	教頭	校長
		2(日)・9(日)・ 16(日)→ 17(月)・ 23(日)・30(日)	✓	✓
7月	〇予定どおり6(土)、20(土)に練習試合を実施。6は▽◇高に5－2で勝。13は〇▽高に1－1で引分。旧チーム時代から、試合に出ている選手が多く、1年生もよく頑張っていたので、9月からの1年生大会も楽しみである。2年生の△△もケガから復帰し、活躍した。 〇14(日)は国体予選のため、休養日を15(月)に振り替えた。 〇13(土)、14(日)の国体予選は、△■高に1－4の完敗であった。3年生相手には力の差があるようだ。 〇7月に入り異常な暑さが続いた。「熱中症予防のための運動指針」では「WBGTが28～31℃の場合は、厳重警戒(激しい運動は中止)」であることを念頭に置き、体温が上昇しやすい運動は避け、通常の倍以上の間隔で休憩を取り、こまめな水分補給に心がけた。また、早朝からの活動を中心とし、暑さのピークとなる14時から16時の活動は避けた。	休養日	教頭	校長
		7(日)・14(日)→ 15(月)・ 21(日)・28(日)	✓	✓
8月		休養日	教頭	校長
9月		休養日	教頭	校長
10月		休養日	教頭	校長
11月		休養日	教頭	校長
12月		休養日	教頭	校長
1月		休養日	教頭	校長
2月		休養日	教頭	校長
3月		休養日	教頭	校長
年間を通した反省		教頭	校長	

【確認事項】

◇記入にあたっては、なるべく以下のものは原則として記入することとする。

- 1 記入すべきもの
- ①参加した大会等 ②練習試合の回数 ③県外等への参加 ④泊を伴うもの
- 2 その他
- ①生徒の重篤な事故等 ②生徒の状況等についての特記事項等
- ◇少なくとも、なるべく学期単位で作成し、校長等の確認を受ける。